

2019年3月期 決算のお知らせ

【単体】	経常利益	60億45百万円	(前期比+7億62百万円)
	当期純利益	41億 2百万円	(前期比+1億円)
【連結】	経常利益	63億13百万円	(前期比△7億91百万円)
	親会社株主に帰属する当期純利益	41億42百万円	(前期比△5億91百万円)

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、5月14日（火）、2019年3月期（2018年度）の決算を発表いたしました。

1 損益（単体）前期比

経常収益は、資金運用収益の減少により前期比8億62百万円減収の402億6百万円となりました。

本業での利益を示す**コア業務純益**は、役務取引等利益は増加したものの、資金利益が減少したことにより9億50百万円減益の60億2百万円となりました。

経常利益は、与信関係費用は増加しましたが、国債等債券損益、株式等関係損益ともに好転したことにより7億62百万円増益の60億45百万円となりました。

当期純利益は1億円増益の41億2百万円となりました。

2 損益（連結）前期比

経常収益は、前期比23億26百万円減収の451億63百万円となりました。

経常利益は、7億91百万円減益の63億13百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は5億91百万円減益の41億42百万円となりました。連結損益が減益になる要因は、2018年3月にグループ内の資本構成変更を行ったことで、前期は子会社に多額の株式売却益が計上されていたという特殊要因です。

3 損益 業績予想比

2019年3月期の業績予想は、資金利益の減少や与信関係費用の増加など厳しい収益環境を前提として公表しておりましたが、次のとおり実績はこれを上回ることができました。

		業績予想値	実績	差異
単体	経常利益	58億円	60億45百万円	+2億45百万円
	当期純利益	40億円	41億2百万円	+1億2百万円
連結	経常利益	60億円	63億13百万円	+3億13百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	41億円	41億42百万円	+42百万円

(以上)